

4月26日

春の県民の森をお散歩したよ!

みんなの広場は一面にキクザキイチゲが満開



オオヤマザクラも咲きはじめました



ふきのとうおいそう。

こっちが雄花

こちらは雌花



みんなの広場から見た岩手山(2038m)



# 岩手県民の森はホテルのお隣



えびフライを  
あつめてみた。

林の中を歩いているとえびフライがたくさん  
落ちているよ！特にこの季節は揚げたて！  
じゃなかった、できたてがたくさんあるよ♪  
(小さいのはアカマツ、大きいのはチョウセンマツ)



# このペットボトルは



女王バチを捕まえるために吊るしてあります。  
 森のいたるところに吊るしてあって、中身の液体には  
 日本酒、みりん、砂糖、酢などを混ぜたものが  
 入っています。女王バチは春先にひとりで巣を作る  
 場所探しの旅に出ます。女王バチがいるところにしか  
 巣は作られないので、先に女王バチだけ捕まえて  
 しまおう！という道具なのです。



ボトルの傾斜面にはハチが1匹  
 通れるくらいの穴があいています。  
 近寄ってみるとハチがいっぱい  
 沈んでいます。

## ▼ ウバユリの芽



ウバユリは夏には1.5m  
 くらいまで成長して白い  
 花を咲かせます。その頃  
 になると、葉っぱがどんど  
 落ちていくので、「葉が欠ける」と  
 「歯が欠ける」= お年寄り(女老)  
 をかけてウバユリと名前が付いた  
 そうです。球根は食用になります。  
 アイヌ民族は冬の食糧として  
 ウバユリを食べていました。

エンレイソウも  
 ユリの仲間だけど  
 毒があります。

## ▼ エンレイソウ



4月下旬、弘前や角館からは桜の見頃情報が聞こえてきます。  
 県民の森の桜はGW後半(5月に入ってから)が例年の見頃。  
 ちょっとだけ遅めのお花見が楽しめます🌸

前森山 1304m  
 ↓ (安比高原)



こぶし

# 辛夷の仲間が花ざかり

岩手県ではコブシを「田植桜」「田打桜」と呼ぶこともあります。昔はコブシの花が咲くのを田んぼを耕す合図にしていたそうです。

写真の花は全てシデコブシ。神事に使う玉串やしめ縄に垂れ下げる細い紙「四手」に花びらの形が似ているのでそう呼ばれるそうです。日本原産で、中部地方の一部にだけ自生しています。コブシの名前はつぼみや実の形が握り拳に似ているから(似てるかなあ...?)名付けられたといわれています。果実が辛い味があるので、辛(からい)夷(野生の)という漢字が当てられたとか。それにしても「辛夷」って、読めませんでした(笑)



コブシは日本原産で北海道から九州まで分布しています。熊本県には、その昔、壇の浦の合戦で敗れた平家の落武者が山奥に隠れ棲んでいたと、春に山を覆うほど真白く咲いたコブシを源氏の白い旗と甚だ違ひして自刃したという伝説が残されているそうです。



# いよいよ 為内の一本桜も満開だったよ

松尾八幡平インターから約5分(ホテルから車で15分くらい)の小高い丘の上に咲くソメイヨシノの一本桜です。県民の森の桜はまだ数輪咲きはじめてはばかりですが、こちらは見頃を迎えていました🌸



一本桜のある小高い丘には「<sup>いけいせま</sup>為内山」という名前があります。

明治初期(1870年頃)ここに神社が建てられましたが、集落から離れていて参詣に不便だったことから現在の八幡平市野馬込に神社だけが移りました。

大正8年(1919年)のことだそうです。この樹がいつ頃植えられたかは定かではありませんが、今では毎年訪れる人の目を楽しませてくれています。

